

会 議 録

会議の名称	鴻巣市総合振興計画審議会委員委嘱式 第2回鴻巣市総合振興計画審議会
開催日	令和5年7月24日(月)
開催時間	午前9時56分 開会 ・ 午前11時25分 閉会
開催場所	鴻巣市役所本庁舎 303会議室
会長氏名	会長 酒巻 貞夫
出席者(委員)氏名 (出席者数)	酒巻 貞夫(会長) 田尻 要(副会長) 太田 恭子 河野 公一 澤近 幸子 高橋 淳一 二俣 一登 関口 知子 土橋 純 鈴木 将浩 (10名)
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	なし
事務局職員職氏名	市長政策室長 藤崎 秀也 市長政策室副室長 沼上 勝 総合政策課長 富田 真久 総合政策課主幹 千葉 昌子 総合政策課主査 篠原 貴光 総合政策課主任 大島 悠志
傍聴の可否 (傍聴者数)	可(0名)
会議次第	I 開会 II 会長あいさつ III 議事 第6次鴻巣市総合振興計画後期基本計画一部改定に(案)について ・前回の審議内容の確認について ・パブリックコメントの実施結果について ・答申(案)について III その他 IV 閉会
会議の内容	「第6次鴻巣市総合振興計画後期基本計画一部改定(案)」について 事務局が説明し、次のとおり意見が交わされた。 [前回の審議内容の確認について] ○笠原小学校は免許センターに近いので、ついでに寄れる、行ってみたいと思える施設がよい。施設については、市民の意見を反映したものがよい。 ○公共施設の老朽化について、相当な予算を要するので、修繕が大規模になる前に、順番を決めて、少しずつ修繕を進めたほうがよい。

<p>会議の内容</p>	<p>○修繕しながらの活用は難しいが、どのように考えているのか。 →公共施設等管理計画を定め、検討しています。</p> <p>○少子高齢化が進行する中で、脱炭素会の形成のためにも、施設を作るより緑地に切り替えていくべき。</p> <p>○鴻巣市は、地域差があるので、注力すべき点と方策を中長期的に考えるべき。</p> <p>○公共施設等管理計画やゾーニングしての土地利用は、住民の理解を得られるよう、今後のビジョンの周知、情報開示を進め、市民の理解を得たらよい。デジ田補助金などを活用して実現する必要がある。</p> <p>○笠原小学校については、学校の雰囲気を残してはいかかがか。</p> <p>○鴻巣市はポテンシャルが高く、住替えを考えている人が多いので、働きやすい場、世代間交流できる場があったらよい。</p> <p>○市の中心がわからない。線の移動手段だけでなく、面の活性化を目指すべき。 →大学に協力いただき、中山道の研究を進めている。市民と事業者が自発的に実施できるような仕組みを作ろうとしている。</p> <p>○これから考えていくべきは、立地適正化。人口減少社会と税収が減少する中で、地域の核を残しながら、リンクしていくような議論を進めるべき。 [パブリックコメントの結果報告について]</p> <p>○意見がないのは、情報が目につきにくいからだと思う。ラジオで流すなど、自然に情報が入るようにすべき。 →今回の内容は一部改定の限定的だったので、関心を集められなかったのかと考えるが、周知が足りなかったのではということは反省すべき点。情報発信の強化を図っていく。</p> <p>○自治会の加入率も低く、広報が行き渡らない。</p> <p>○訴求力が必要。</p> <p>[答申（案）について]</p> <p>○別紙意見について、市民を主体にしたほうがよい。 →「市民も」を「市民が主体となって」に修正</p> <p>○民間活力の導入の際は、チェック体制を取り入れたほうがよい。 →「チェック体制」の文言を追記</p>
<p>配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回鴻巣市総合振興計画審議会会議次第 ・ 【資料1】 前回の審議内容の確認について ・ 【資料2】 パブリックコメントの実施結果について ・ 【資料3】 答申（案）について